

SQL Server リモート接続設定方法

他のPCからデータを参照・登録できるようにするためのサーバー側の設定を行います。

リモート接続設定ツールのダウンロードと実行

リモート接続設定ツールを使用することで、サーバー側の設定を簡単に行えます。

ダウンロードページから Zip ファイルをダウンロードし展開します。

展開されたフォルダ内の「SQLRemoteSetting.exe」を実行します。

設定手順

実行すると下図の画面が表示されます。

以下の1～3の手順で設定をします。

SQL Server リモート接続設定

LAN内のPCからこのPCへ
接続できるように下記の設定します。

- SQL Server Browserの開始モードの設定と起動
- SQL ServerとSQL Server Browserのファイアウォール登録
- saログインの有効化とsaパスワードの設定
- SQL認証ログインの許可

※複数のSQL Serverをインストールしていると
正しく設定できない場合があります。

1. パスワードを設定してください。

インスタンス

ユーザー

新しいパスワード

2. 構成マネージャを開き、TCP/IPを有効にしてください。

[方法](#)

3. 最後に実行ボタンを押してください。

1. パスワードの設定

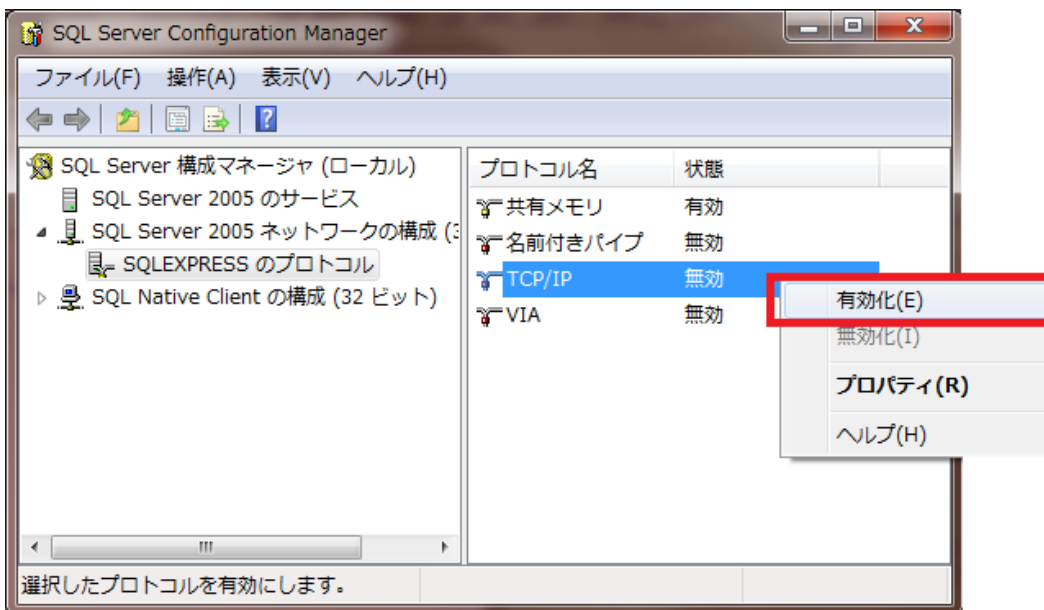
インスタンスを選択し（通常は SQLEXPRESS）、任意のパスワードを設定してください。これらの情報はクライアントからの接続時に必要になります。

2. TCP/IP の有効化

構成マネージャーボタンをクリックすると、SQL サーバー構成マネージャ画面が開きます。

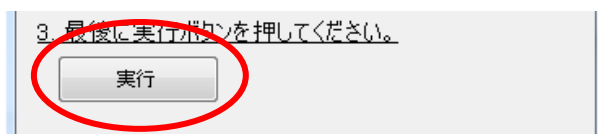


画面左側で SQLEXPRESS のプロトコルを選択し、画面右側の「TCP/IP」を右クリックして表示されるメニューの「有効化」をクリックします。



3. 実行

SQL Server リモート接続設定画面に戻り、実行ボタンをクリックします。



以上